

科目名			生活支援看護学演習 I		
科目責任者	岡田 なぎさ	(基礎看護学 准教授)			
担当者	中富 満城	(人間情報科学 准教授)			
担当者	岡田 亮	(人間情報科学 准教授)			
開講時期:	1年次後学期	単位数:	2 単位	時間数:	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>複雑な背景、多様なニーズをもつ対象者の健康問題を生活を支援することにより改善するために、創造的・先駆的に探究するための基本的知識を講義・演習を通して得る。関心領域の国内外の看護学および関連領域の文献を検索し、研究課題の背景や意義、研究方法等を明らかにする。さらにヘルスアセスメントの知識・技術を学び、生活支援のための看護判断の能力を高める。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護実践の場面を取り上げ、看護技術学の視点から解釈ができる。 2) 看護技術の科学性を探究することができる。 3) 健康と生活支援のあり方を検討することができる。 4) ヘルスアセスメントの結果を生活支援と関連づけ、生活支援の方法を説明できる。 5) 自己の関心領域の文献を精読でき、関心領域を説明できる。 					
● 評価方法	討議への参加度 20% プレゼンテーション 40% 課題レポート 40%				
● 参考文献	適宜紹介する。				

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1～3	看護技術のエビデンスの検討	看護技術の科学的エビデンスを検討する	岡田(な)
4	健康と日常生活動作時の関連	関心のある日常生活動作時をとりあげ、それに関連した文献を精読する	岡田(な)
5	ヘルスアセスメント	ヘルスアセスメントの意義と方法を深める	岡田(な)
6・7	在宅におけるヘルスアセスメント	在宅におけるヘルスアセスメントについて検討する	岡田(な)
8～12	ヘルスアセスメントの実際	ヘルスアセスメント能力を高め、日常生活援助について理解を深める	岡田(な)
13～15	自己の研究課題に関連した文献紹介	自己の関心をより明確にするために、関連領域の文献を精読し、まとめる	中富、 岡田(亮)